

令和3年第5回（9月）定例会 一般質問通告表

順	質 問 事 項	質 問 者
1	1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と市民の感染不安の解消について問う (1) 新型コロナウイルス感染症の陽性者（主に無症状者）を早期に発見し、クラスター感染等の拡大を防止するため、高齢者施設、保育・教育関係施設、宿泊施設の従事者などに対し、PCR検査の定期検査を実施し、感染防止に努めるべき (2) 新型コロナウイルス感染者発生時の佐渡市の対応や感染状況などについて、市民への説明が不十分との指摘が市民から寄せられているが、今後はどのように取り組むか (3) 女性活躍・男女共同参画の重点方針2021では「コロナ対策の中心に女性を」を第一に掲げ、①雇用・労働、②困難や不安を抱える女性への支援、③「生理の貧困」への支援を掲げているが、佐渡市としてどのように取り組むか 特に、コロナによる雇用情勢の悪化による収入減で、生理用品が買えない等の報道もされている。「地域女性活躍推進交付金」の活用で、学校、公共施設等に生理用品を設置できないか 2 住宅用火災警報器の設置と維持管理について問う (1) 佐渡市における住宅用火災警報器の設置率は、令和2年7月1日時点で75%、条例適合率55%と、県平均の設置率87.0%、条例適合率72.2%を下回っているが原因は何か (2) 住宅用火災警報器の設置義務から10年以上が経過し、電池切れや故障などによる不作動等が懸念されるが、対策をどのように講じているか (3) 住宅用火災警報器の維持管理について、点検、交換の状態が、玄関などにシール等を貼ることで外部から確認できるようにできないか (4) 火災の未然防止と発生時の対応について、各地域で、地震・津波避難訓練と同様の対応が必要ではないか 3 業務手順書を活用した内部統制の整備、運用について問う (1) 市役所各課において保有している事務手続き、マニュアルについて、総務課等が、運用状況、見直しなどを統括管理し、関係職員への周知、改善を図るPDCAサイクルを構築すべき (2) コンプライアンス強化の一環として、事務処理ミス等について、その概要を公表し、行政運営の透明性の推進と再発防止を図る取組が、柏崎市をはじめ、各地で取り組まれている。行政の透明性確保と再発防止に取り組むべき (3) 事務手続きの効率化に伴う「業務の可視化」で、内部統制の見直しにRPA（ロボティックプロセスオートメーション）の導入が期待されるが、佐渡市の対応はどう考えているか (4) 内部統制体制の整備、運用により、監査委員が行う財務監査などで監査対象としていた部分の一部を省力化し、特定の部分に重点化することが可能となるが、監査の立場から、内部統制の整備、運用について、どのように捉えているか 4 農業政策について問う (1) トキとの共生を目指し、田んぼの生態系に配慮した「生きものを育む農法」の取組により、佐渡市認証米をブランド化し、水田農業を進めてきたが、令和3年産米のJA佐渡の仮渡単価は、コシヒカリ1等で12,600円、こしいぶき1等で9,800円と生産費を賄えない状況で、このままでは離農が進み、耕作放棄地拡大が懸念される。生産意欲継続に向けた政策はどのように考えているか (2) 新たな米政策により、需要に応じた米の生産調整が、毎年、超過達成している。大規模生産者は作付面積を確保するため、ほかの集落等から調整面積を購入している。米価下落が続く中、生産費削減のため、行政が強いリーダーシップを発揮し、調整すべき (3) 第3期世界農業遺産保全計画では、この間の取組の総括と今後の方向性が示され、生態系の保全と農業経済を両立させる「持続可能な農業経営モデルの構築と拡大」を目指しているが、農林水産省の「みどりの食料システム戦略」での有機農業との関連はどのように取り組むか	佐 藤 定

順	質 問 事 項	質 問 者
2	1 新型コロナウイルス感染症対策について (1) コロナ感染者の発生状況と今後の対策について (2) ワクチンの安全で迅速な接種体制及びワクチン接種の実施状況と今後の計画について (3) コロナ感染の封じ込めのための対策状況と今後のPCR検査等の検査対応について (4) コロナ禍における市民へのこれまでの支援策の実施状況と今後の対応策について(快適な生活応援事業補助金など) 2 補聴器購入費用の助成制度の実施について 難聴の放置が認知症の原因になることから、認知症やうつ病予防のために、補聴器購入費用の補助制度の実施を求める 3 生活保護(申請は国民の権利)、特別障害者手当について 両制度の内容、実績、徹底した周知方法、周知状況、今後の計画などについて 4 子育て支援について 学校給食の無償化(保育園・幼稚園・小中学校)、子ども医療費助成制度(一部負担金なしの完全無償化)、就学援助制度の適用基準などの充実について	中 村 良 夫
3	◎ ウィズコロナ、アフターコロナに向けた市の観光関連政策について問う 1 ウィズコロナの現在、観光政策における市の基本方針と対策について (1) 誘客に対する考え方と施策は何か (2) PRの内容と手法はどうしていくのか (3) 観光関連事業者に対する追加の支援策は何か 2 個人型観光への対策について (1) 個人型の移行に伴うメリット、デメリット、及び顧客ニーズをどう分析しているか (2) 個人旅行者が佐渡に求めているものは何と考えるか。その上位ニーズに対する市の施策は何か。また、民間事業者が行うべきことと、行政サイドが行うべきことのすみ分けは整理できているか (3) 付加価値化のために必要なガイド人材の養成、多言語対応策等はどう考えるのか (4) 世界遺産登録後に向けた対策はできているのか。それは何か 3 空路等の交通政策について (1) 2023年の世界遺産登録見込みと並行した空路再開の必要性の認識は (2) トキエアの就航計画に関する進捗状況と課題をどのように把握しているか (3) 空港整備に関する市としての方針、県との役割分担、今後の優先すべき施策内容は何かと考えるか (4) 利便性の向上と効率化の観点から、Ma a S等のDX活用への取組状況はどうか 4 他部署、事業との連携について (1) 観光政策、移住交流、農業遺産、世界遺産、文化財団等、関係人口拡大に向けた相互の事業連携はあるか (2) 市としての情報発信を軸としたプロモーション事業は、広報宣伝部、課等の組織による一元化がより効果的ではないか (3) 島内通信網の整備はどこが主導して、いつまでに何を実行する予定か。外部人材の導入も含めた独立専門部署の早急な設置が必要ではないか	林 純 一
4	1 学校教育について (1) 中学校の部活動改革について ① 佐渡市として、部活動改革をどのように進めていくのか問う ② 休日部活動の段階的な地域移行を進めていくには、受け皿となる地域の活動団体等の協力が必要と考えるが、協力体制の準備はできているのか問う ③ 休日部活動の地域移行に向けて、活動施設や設備環境をどのように整備していくのか問う (2) GIGAスクール構想について ① 一人一台タブレット端末や自宅にあるインターネット機器等を活用したオンライ	平田和太龍

順	質 問 事 項	質 問 者
4	ン授業の計画はどうなっているか問う ② I C T支援員の配置状況は適切か問う (3) 水泳授業について ① プールが併設されている佐渡市立小・中学校の過去5年間の修繕費、改修工事等を問う ② 佐渡市立小・中学校の、令和3年度、令和元年度のプール使用実績を問う ③ 佐渡スポーツハウスを使用した水泳授業や、近隣の学校を集約化した水泳授業の在り方を問う (4) 佐渡市の新たな学校教育環境整備計画の進捗状況を問う (5) 学校教職員の人材確保について、どのように検討しているか問う 2 幼児教育について (1) 指導保育士の在り方について問う ① 指導保育士の職務や雇用期間等について問う ② 私立保育園との関わりをどのように行っているか問う (2) 保育士の処遇改善をどのように行っていくか問う (3) コロナ禍における子どもや保護者に対する影響をどのように分析し、対応しているか問う (4) 保育園の統廃合や民営化等、佐渡市保育指針を含めたグランドデザインをどのように検討しているか問う 3 ヤングケアラーについて 市立学校の児童、生徒のヤングケアラーの実態をどのように把握し、対応していくか問う	平田和太龍
5	1 コロナ対策について (1) 学校の感染防止対策について (2) にいがた安心なお店応援プロジェクトと佐渡クリーン認証制度の並存について (3) 世界文化遺産国内推薦を見据えた佐渡金銀山の誘客キャンペーンについて (4) 国に対し、地方創生臨時交付金の追加を求めるべき 2 デジタル化の推進について (1) 外部人材に求める業務、目的、目標は何か (2) スマートシティの実証実験を始める予定だが、その後の展開をどうするのか (3) 島内5G通信網の整備を求める (4) 「誰も取り残さない」社会の実現のため、高齢者向けスマホ講習の推進 3 高齢者のごみ出し支援について 令和3年6月定例会一般質問を受けて、その後の進捗を問う	山田伸之
6	1 佐渡航路の安定と充実 羽茂港―直江津港の貨物航路の今後はどうなるのか 和幸船舶「栗国」の就航について、佐渡汽船に補助金をつぎ込んでも赤字になる航路に参入してもらえるのはありがたい。今後に期待したいがどうか 2 佐渡のエネルギーを考える (1) 県の自然エネルギーの島構想は何を求めているものなのか ① 具体的なものが決まっていらないようだが、まずは化石燃料の使用を少しでも減らすことが課題なので、協力してもらえるところから太陽光発電の促進を図るべきではないか ② 水素は、今後、どのように利用すべきと考えているか (2) 太陽光発電の余剰電力をためておく蓄電池の補助金を増やすことはできないのか 太陽光発電は今、身近な自然エネルギーといえるが、余剰電力の調整が大きなネックとなっている。そこで、太陽光発電と蓄電池のセットでの普及が望ましいのではないか 3 佐渡の林業活性化の道を探る (1) 新庁舎建設に佐渡産材を使うべきではないか ① 「公共建築物等木材利用促進法」の内容は、新庁舎建設計画にあたって考慮した	中川健二

順	質 問 事 項	質 問 者
6	か ② 新庁舎の木造化は、佐渡の林業活性化の起爆剤になるのではないかと。また、佐渡の環境保全のためにも有益だが検討されたか (2) 佐渡産材が島外産材と比べて使いにくい理由は何か 佐渡産材のコスト高はなぜか 4 ヤングケアラーの把握を (1) ヤングケアラーの存在に目を向けるべきではないか ヤングケアラーの全体像は見えていないので、把握する機会を設けるべきではないか (2) 学校や行政は何ができるか ① 家事の手伝いや親族の世話が悪いわけではないが、子供としての権利や機会が失われることは、その子の人生に不利となる。行政、教育の立場でのフォローは何ができるか ② 単純な問題ではないが、福祉面から家庭を支える対応や教育現場でもヤングケアラーであることへの考慮も必要ではないか	中 川 健 二
7	1 新型コロナウイルス感染症について (1) 今後の対応について、どのように考え、計画をしているか (2) 不安を解消するための対応をすべき (3) 学校で、児童、生徒に感染が確認された場合の対応について 2 佐渡金銀山の世界遺産登録へ向けた対応状況について (1) 受入体制について (2) 相川郷土博物館と奉行所の活用について (3) まちづくりについてどのように考えるか 3 奨学金助成制度について 人材不足を解消するための制度拡充について 4 働きやすい職場の環境整備について 5 パートナースhip宣誓制度の実施について 6 組織体制について (1) 渡辺市長の目指す組織体制について (2) 社会の変化に対応する組織づくりについて	北 啓
8	1 世界農業遺産認定から10年、これからの佐渡市の農業について (1) 農業の生き残りのために、世界農業遺産を活用した無農薬米生産プロジェクト構想を表明しているが、その構想はどのようなものか。また、市長のこの構想にかける思いを問う ① 無農薬米生産者の現状 ② 今後の展開 (2) 保育園給食への地元の食材提供と食育について ① 保育園給食での地元食材の活用状況と食育活動状況 ② 今後の食材提供に当たっての取組と方向性 (3) 農福連携について ① 農福連携に対する市の考え、方針 ② 現在の取組状況 ③ 若手職員の提案した「教育・農福連携の新事業」は、令和3年度中の事業化に向け、実施の仕組みや事業計画を詰めるようだが、その進捗状況 2 果樹農家は、鳥獣被害に頭を悩ませている。環境施策の一つ「廃棄物（生ごみ）の発生抑制と循環的利用」は環境に対してだけでなく、鳥獣被害対策にもなると考える。関係機関と連携し、力を入れて推進すべきと考えるが、市長の見解を問う	上 杉 育 子

順	質 問 事 項	質 問 者
9	1 長引くコロナ禍の厳しい中で、渡辺市政の本格予算となった本年度の重点施策、取組として、思い切った第3子支援などの子育て支援に注力したが、高齢者の多い島として、深刻で切実な介護への取組も急務である 特養等に入所ができないなら、せめて働きながらも家族介護ができること、老々介護といわれる状況などの中、介護者に焦点を当てた支援策を考えるべきではないか (1) 介護等により、離職や働き方を変えなければならなかった世帯数、高齢者のみの世帯及び親と子どもだけなどの介護世帯などの把握している数 (2) 生活支援事業の外出支援サービスなどは、要介護度の高い高齢者だけを対象にするのではなく、世帯状況により介護者等も支援を受けられるように広げる必要はないか 2 今年度の米価の大幅下落は、衝撃を与えており、地域農業の大きな衰退につながる。特に、条件不利地の中山間地は共同、集約化も困難だが、どのような認識か。また、何が問題と考えているか 3 道路維持管理は、老朽化施設の増大や激甚化する災害などに対し重要で、一層の住民との連携による対応が必要とされており、スマートフォン活用による日常管理システムなどが先進事例となっている (1) 住民協働も含めた気軽なスマートフォン活用などによる維持管理連携を考えるべきではないか (2) 今後の世界遺産登録なども見据えた景観維持や地域避難道なども含めた地域道路を地域で見守れる協力・委託制度を作るべきではないか (3) 砂防ダム等の防災施設への管理道路などの維持管理の状況（県管理も含めた施設数と状況） 4 新型コロナとどう向き合うのか (1) コロナ禍で日本の医療崩壊が現実化した背景は、これまでの国の医療費抑制政策中心の病床削減と医師抑制の結果であるが、市長の見解を求める (2) これまでの感染状況などの情報共有に対する市民の不安、不信感をどう考えるか。国、県、医療機関と佐渡市の役割分担は問題ないか 5 地域医療の要の両津病院建設への新潟県の支援（額）はどうなるのか 6 佐渡航路について (1) 小木ー直江津航路へのカーフェリー導入、新潟ー両津航路のカーフェリー、ジェットフォイル新造、貨物船更新の課題の状況。また、羽茂ー直江津航路への貨物船参入はどうなるのか (2) 佐渡汽船の債務超過解消は、厳しいコロナ禍で極めて難しいと捉えるべきもので、避けては通れない重大問題だが、大株主の新潟県と今後の抜本的な対策や協議はどのようにしているのか	中 川 直 美
10	1 観光戦略について (1) 市長方針を問う (2) 観光振興課と佐渡観光交流機構の連携体制をいかに構築していくのか (3) 観光事業者との意見交換は形式的なものではなく、個別に聞き取り調査すべきではないか (4) 祝・世界遺産国内推薦キャンペーンについて ① 世界遺産国内推薦決定に合わせた「自動車航送運賃ゼロ円」の実施時期について ② 「自動車航送運賃ゼロ円」を恒久的な政策に変えるための策を実行すべき (5) 小木ー直江津航路のジェットフォイル化による観光産業への影響をどう捉えるか (6) 世界遺産登録に向けた受入態勢整備等の進捗状況について ① 受入態勢整備に関するタスク進捗状況について、見える化は実施できているか ② ガイドの育成及びガイドが活躍できる場の設定など、市の具体案を示せ ③ バリアフリー対応の進捗状況について、具体的なロードマップを示せ ④ 佐渡空港、トキエア就航時の二次交通対策について、市の考えを示せ 2 県の自然エネルギーの島構想・中間報告に対する市の考えを示せ (1) 公共施設における再生可能エネルギー導入促進方針について	後 藤 勇 典

順	質 問 事 項	質 問 者
10	(2) 法人及び個人住宅向け再生可能エネルギー導入促進方針について (3) 2030年目標、電気自動車12,464台達成に向けた具体策について 3 求められる障がい福祉サービスの拡充について (1) 「障がい福祉サービスの拡充等に対する市民要望」を受けて、市長の考えを問う (2) 生活介護事業所の拡充について、市直営を含む支援の在り方を問う (3) 就労継続支援事業所及び就労移行支援事業所の拡充について、市の支援方針を問う	後 藤 勇 典
11	◎ 人が人らしく生きられる佐渡を子どもたちに喜んで渡すために質問をする 1 今般、佐渡市総合計画の基本構想案が示されているが、佐渡は目下の社会問題である、気候変動の危機、新型コロナウイルス感染症禍、進む人口減少の現実突き付けられている問題をどう受け止め、どのような社会変革を描き、どのように立ち向かっていくのか (1) 気候変動の危機に現政権が真剣に向き合っている姿を認めることは難しいと感じている。洋上風力発電は遠い未来の夢である。二酸化炭素排出の削減をいち早く可能にするために、佐渡の電力の再生可能エネルギー政策は、持続可能な地産地消を追求すべきではないか ① 県との計画は絶対に必須な条件か ② 小規模発電所の設置による地域分散型発電の可能性について (2) コロナ禍の問題を踏まえた社会変革を反映させた総合計画にせよ ① 非正規雇用は収入の変動が大きく、女性や若者の生活を自立させられず、貧困のリスクが高いことが明らかになった。収入格差、また、そのために生じる教育格差を早急に縮小させる策を講じよ ② 女性差別撤廃を全面的に講じよ ③ 感染症患者に自宅療養を押し付ける国の方針そのままでは命の危険性が高い。特に、高齢社会にある佐渡は独自の取組が求められると考えるが、この夏の実態はどのようなものだったのか。余裕のある入院医療体制を講じよ 2 住民の利益のために県と市の縦割り分業に風穴を開けよ (1) 当事者本位の精神医療福祉の実現について (2) 観光も視野に入れた道路管理整備について (3) 海岸ごみを視野に入れた海岸管理整備について (4) 地域開発整備などと支所・行政サービスセンターの関係強化について (5) 子どもの最善の利益を追求するための児童相談所との連携強化について (6) 外国籍住民のための環境改善について (7) 感染症の重症者以外の入院医療体制確保対策と重症化リスクの低い感染者の安全な治療体制の確保対策について 3 佐渡市教育委員会の首長からの独立性は守られているかを問う 先の6月議会において、市長部局である防災管財課による官庁内の掲示物規制の下、教育委員会の管轄である教育活動の掲示物規制が判断されている問題について質問した。この問題は、その後どのように整理されたのか。市民に分かりやすく説明せよ	荒 井 眞 理
12	1 北方領土問題に対する市長見解 ロシアが不法占拠する北方領土の択捉島への露首相訪問及び北方領土での地対空ミサイルシステム実戦配備や、大規模な軍事演習実施に対する北方領土返還要求運動新潟県民会議構成団体である新潟県市長会の一員としての渡辺市長の見解を問う 2 核兵器禁止条約に対する市長見解 3 新型コロナウイルス感染防止対策 (1) 感染状況と防止策及び経済対策 (2) ワクチン接種状況と今後の計画 4 農業政策 (1) 令和3年6月定例会で飼料米交付金等の早期支払いを求めたが、その後の対応 (2) 令和3年産米仮渡し金大幅減額に対する対応 (3) トキ認証米の加算金	近 藤 和 義

順	質 問 事 項	質 問 者
12	市長の手がけた認証制度は、佐渡米のブランド化として評価するが、「農家から 60 kg当たり 1,500 円加算して買い取る仕組み」が実行されていないことに対する改善策 5 U I ターン者向け支援制度の内容と利用者数（令和 2 年度、令和 3 年度） 6 L C C 東京直行便運航の進捗状況 7 多子世帯出産成長祝金等の給付状況と今後の見通し 8 両津病院と歌代の里の建設計画 9 世界遺産登録の進捗状況と見通し（スケジュール） 10 最上位計画である佐渡市総合計画の策定にあたっての目的と理念	近 藤 和 義